ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

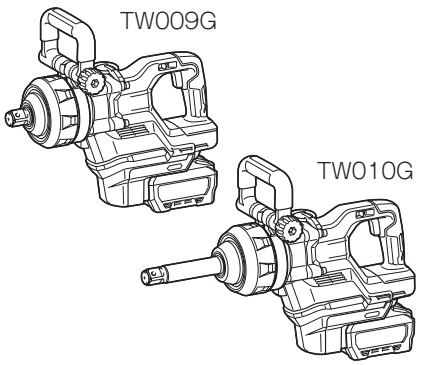
makita

取扱説明書

充電式
インパクトレンチ

モデル TW009G

モデル TW010G



このたびは**充電式インパクトレンチ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 4
各部名称 …… 14
標準付属品の確認 …… 15
別販売品のご紹介 …… 16

ご使用前の準備

バッテリの充電 …… 17
バッテリ／充電器の取り扱い …… 18
使用前に知っておいていただきたいこと …… 19

使い方

ソケットの取り付け／取りはずし方法 …… 21
バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 22
本製品の操作 …… 23
・リングについて …… 23
・サイドハンドルの調整 …… 24
・スイッチの操作 …… 26
・正逆転切り替えレバーの操作 …… 27
・ライトの点灯 …… 28
・ライトモード …… 29
・モードの切り替え …… 31
・ボルトの締め付け …… 36

保守／点検

保守 …… 39
故障かな？と思ったら …… 40

はじめに

主要機能

主要機能＼モデル		TW009G	TW010G
電動機		DC ブラシレスモータ	
使用可能バッテリ（別販売品）		リチウムイオンバッテリ	
		対応バッテリの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。	
電圧		直流 36 V（40 V max）※	
回転数	打撃モード 4（最速）	0 ～ 1,200 min^{-1}（回転 / 分）	
	打撃モード 3（強）	0 ～ 850 min^{-1}（回転 / 分）	
	打撃モード 2（中）	0 ～ 700 min^{-1}（回転 / 分）	
	打撃モード 1（弱）	0 ～ 600 min^{-1}（回転 / 分）	
打撃数	打撃モード 4（最速）	0 ～ 1,750 min^{-1}（回 / 分）	
	打撃モード 3（強）	0 ～ 1,500 min^{-1}（回 / 分）	
	打撃モード 2（中）	0 ～ 1,300 min^{-1}（回 / 分）	
	打撃モード 1（弱）	0 ～ 1,200 min^{-1}（回 / 分）	
締め付けトルク（4（最速）のとき）		最大 2,850 N・m （29,060 kgf・cm） M36（強度区分：F10T） 摩擦接合ボルト 3 秒締め付け時	
締め付け能力		普通ボルト：M27 ～ M45 高力ボルト：M20 ～ M33	
角ドライブ寸法		25.4 mm	
振動 3 軸合成値		37.5 m/s^2	33.4 m/s^2
防じん・防水保護等級		IPX6	

※：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。

- 振動 3 軸合成値は、EN62841-2-2 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA〔（社）日本電機工業会〕ウェブサイト：（http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html）をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

■ TW009G

装着バッテリ	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4040F	10.9 kg	435 mm × 135 mm × 276 mm
BL4050F	11.3 kg	435 mm × 135 mm × 297 mm
BL4080F	11.9 kg	435 mm × 135 mm × 316 mm

■ TW010G

装着バッテリ	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4040F	11.9 kg	570 mm × 135 mm × 276 mm
BL4050F	12.3 kg	570 mm × 135 mm × 297 mm
BL4080F	12.9 kg	570 mm × 135 mm × 316 mm

1 回の充電での作業量（4（最速）の場合）

・ 数値は参考値です。
・ 締め付ける場所の材質などにより異なります。
・ スイッチレバーを最大に引き込んだ状態での値です。

締め付けボルト	締め付け時間	締め付け本数 バッテリ BL4050F
M33	約 2.0 秒	約 200 本

注

・ 予備のバッテリを使用して連続作業をされる場合は、本製品を 15 分以上休止させてください。
・ 連続作業中はハンマケースが熱くなることがあるので、手で触れないでください。

JPA002-65

安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
   - 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
   - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
   - 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
   - アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
   - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
   - 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
   - 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
   - バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
   - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
   - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
   - 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. **充電工具は能力に合った作業に使用してください。**
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. **スイッチに異常がないか点検してください。**
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. **充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。**
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. **使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。**
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. **可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。**
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. **先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。**
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. **取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。**
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. **充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。**
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. **極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。**

⚠警告

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠警告

14.使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。

- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

JPB374-1

充電式インパクトレンチ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式インパクトレンチとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠警告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
   - 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 使用中は、振り回されないよう本製品を確実に保持してください。
   - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、ソケットなどの工具類や回転部に手や顔などを近づけないでください。
   - けがの原因になります。
4. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ソケットや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. サイドハンドルをご使用の際は、サイドハンドルをしっかり固定し、本製品を両手で確実に保持してください。
   - 確実に保持していないと、けがの原因になります。

⚠注意

1. 工具類（ソケットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
   - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
   - 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

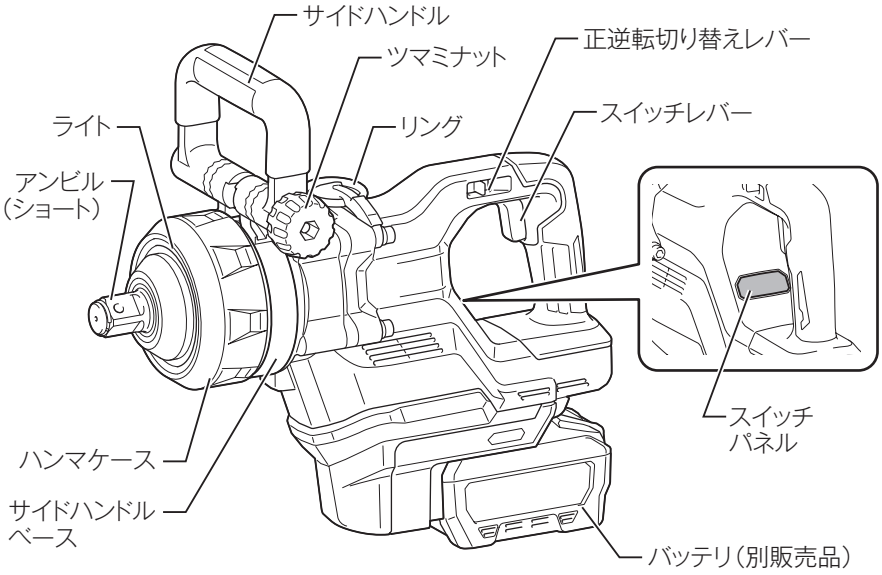
保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

注

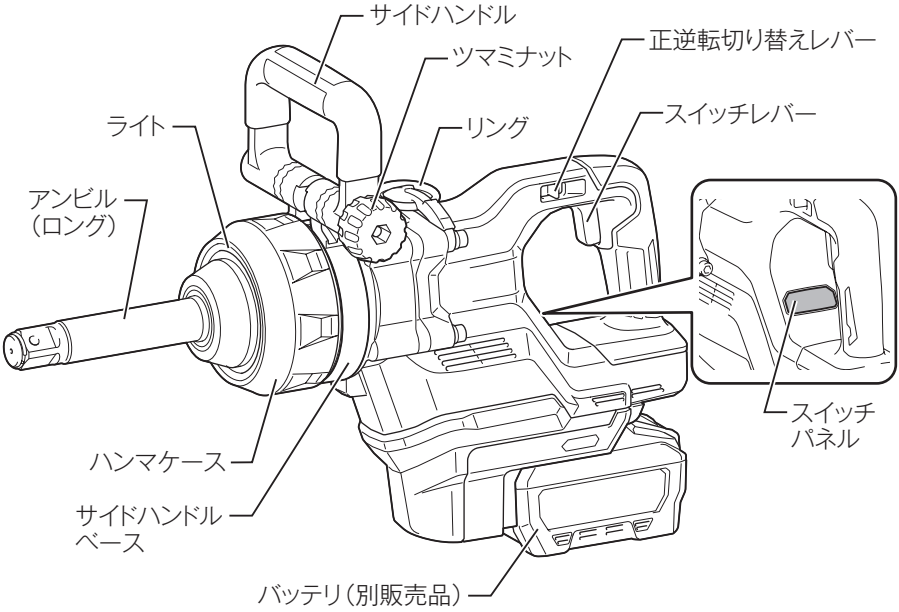
- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
  過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称

<TW009G>



<TW010G>

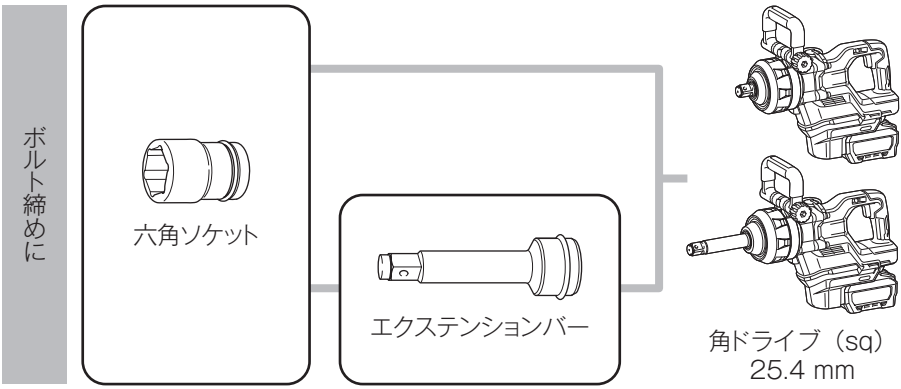


標準付属品の確認

モデル / 標準付属品	TW009GZK	TW010GZK
バッテリ	×	×
充電器	×	×
サイドハンドル	○	○
リング	○	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。



・ ショルダーベルト
部品番号：161347-8

バッテリおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量）	BL4040（4.0 Ah）	A-69939
	◎ BL4040F（4.0 Ah）	A-73841
	◎ BL4050F（5.0 Ah）	A-72372
	◎ BL4080F（8.0 Ah）	A-73368
対応充電器	DC40RA（急速充電器）	JPADC40RA
	DC40RB（2 口急速充電器）	JPADC40RB
	DC40WA（2 口充電器）	JPADC40WA
	DC40WB（充電器）	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリ

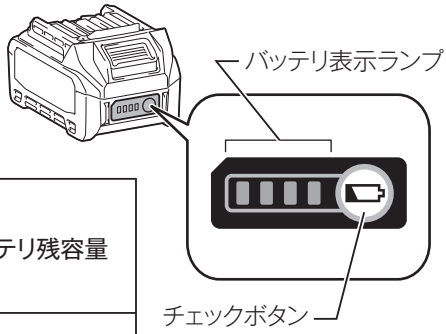
・ ADP10　充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

バッテリの充電

・ バッテリは別販売品です。

バッテリ残容量表示

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
◪ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリの異常です。

注

- 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

バッテリの充電方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリ／充電器の取り扱い

・ バッテリ、充電器は別販売品です。

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

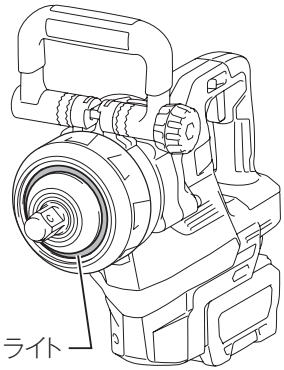
充電器の点検・修理・保管方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	ライト点滅（約1分後消灯）
・ 本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。 ・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	 ※イラストはTW009Gです
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 ・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。	
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 ・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（40 ページ参照）に従って点検してください。

各種機能

■ 電気ブレーキ

・ スイッチレバーを放すと電気的に回転を止めます。ただし、バッテリの残容量が無くなった場合、スイッチレバーを引いたままバッテリを抜いた場合や過負荷保護などの保護機能が作動した場合は、電気ブレーキは作動しません。また、バッテリの残容量がある場合で、スイッチレバーを放しても本製品がすぐに停止しない状態が続く場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

■ 再起動防止

・ 本製品には再起動防止機能を備えています。
スイッチレバーを引いた状態でバッテリを差し込んでも起動しません。
その際は、スイッチレバーを放してから、再度スイッチレバーを引くと起動します。

使い方

イラストは代表して TW009G を掲載しています。

ソケットの取り付け／取りはずし方法

ソケットの選定

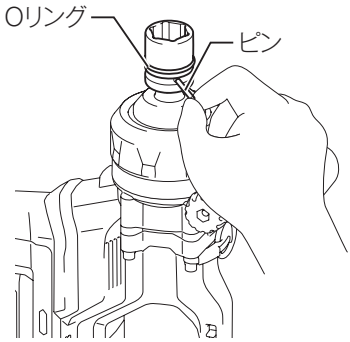
・ ボルトまたはナットに合ったソケットを必ずご使用ください。
・ ソケットの詳細に関しては、カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

⚠ 警告

ソケットや付属品などの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

取り付け方

1. ソケットの溝にはまっている O リングをずらしてピンを抜き取ります。
2. ソケットを本製品に押し込んで再びピンを挿し込み、O リングを溝にはめます。

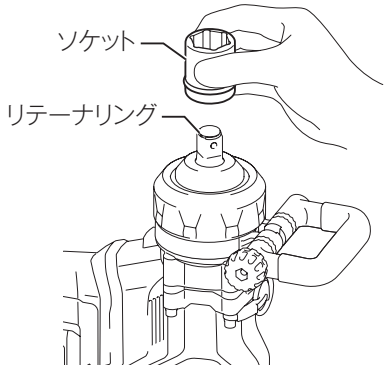


取りはずし方

・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

注

・ **ソケットを取り付ける際は、ソケットや本製品の取り付け部分に異常な摩耗、ひびや欠けなどがないことを確認してください。**
・ **リテーナリングは仮固定用です。ソケットは必ずピンと O リングで固定してください。**



バッテリの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

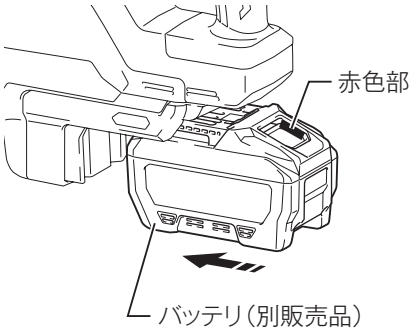
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

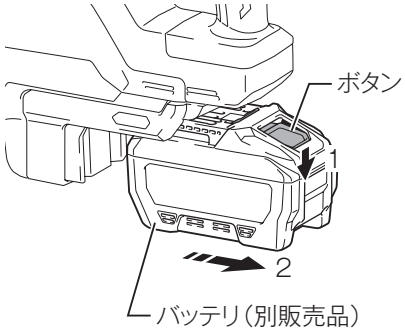
・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4050Fの取り付け例です。

取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



本製品の操作

リングについて

⚠ 警告

リングを使用する前に、ブラケットとリングが本製品にしっかりと取り付いていることを必ず確認してください。また、ブラケットやリング、本製品を吊るすもの（パイプ・フックなど）が変形・損傷していないことを必ず確認してください。
本製品を吊るすもの（パイプ・フックなど）は、本製品質量に対して充分な耐荷重をもつものを必ず使用してください。
吊るした状態の本製品に過度な荷重をかけないでください。
・ 本製品が脱落するなど、事故の原因になります。
リングは本来の目的にのみ使用してください。
・ 目的以外の用途に使用すると、けがや事故の原因になります。

・ リングを使用してパイプやフックなどに本製品を吊るすことが可能です。
・ 本製品を吊るしながら作業することで、作業時の負担を軽減することができます。

注

・ リングは取りはずすことができますが、取りはずす場合は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

サイドハンドルの調整

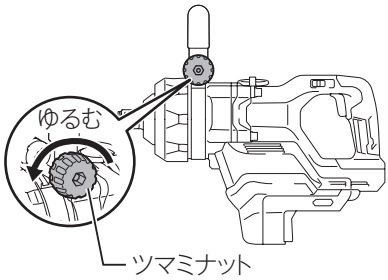
⚠ 警告

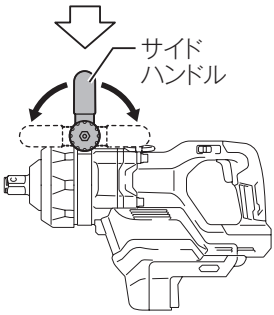
サイドハンドルは必ず取り付け、本製品を両手で確実に保持して作業してください。
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
サイドハンドルの取り付け、取りはずしや調整した際は、しっかりと固定されていることを確認してください。
・ けがや事故の原因になります。

■ 角度調整

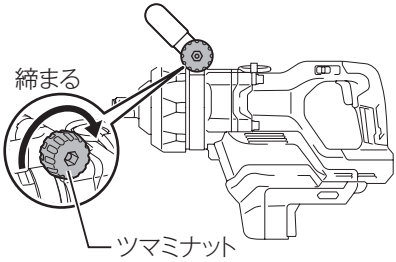
・ サイドハンドルの角度は、水平方向の前後 9 段階で調整できます。

1. ツマミナットをゆるめます。
2. サイドハンドルをお好みの角度に調整します。





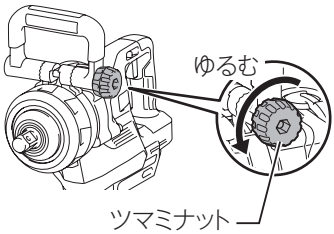
3. 調整後、ツマミナットを締めます。



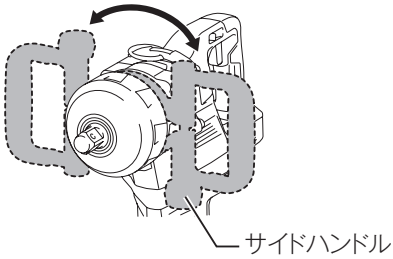
■ 位置調整

・ サイドハンドルの位置は、ハンマケースの周囲を 45 度ごとに 360 度調整できます。

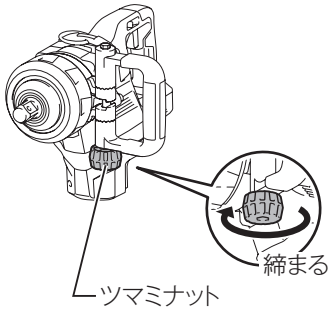
1. ツマミナットをゆるめます。



2. サイドハンドルをお好みの位置に調整します。



3. 調整後、ツマミナットを締めます。



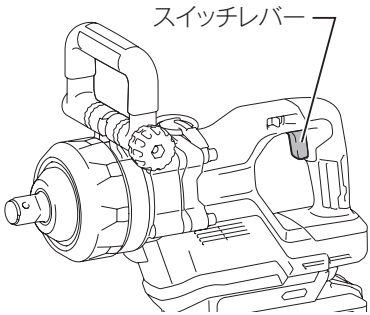
スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

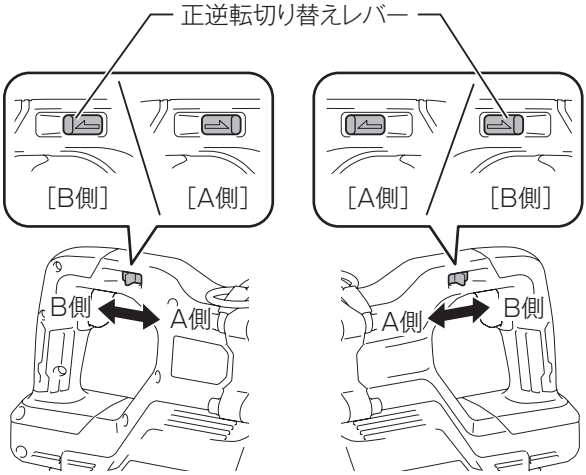
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと事故の原因になります。

・ スイッチはレバーを引くと入り、放すと切れます。
・ スイッチレバーの引き加減により、お望みの回転数および打撃数が得られます。



正逆転切り替えレバーの操作

・ 正逆転切り替えレバーを A 側にスライドすると右回転（正転）し、B 側にスライドすると左回転（逆転）します。
・ 正逆転切り替えレバーを中間の位置にすると、スイッチレバーは引けますがモータは回転しません。



注

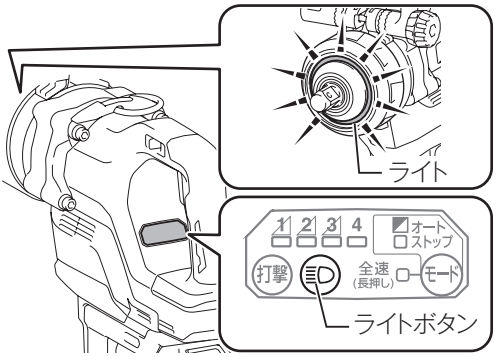
・ ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
・ 正転･逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
・ 本製品を使用しないときは、正逆転切り替えレバーを中間の位置にしておいてください。

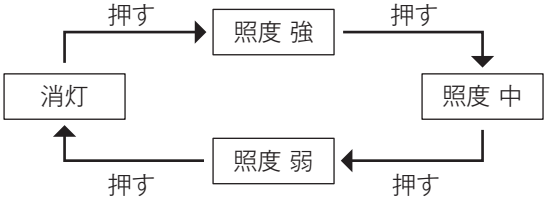
ライトの点灯

⚠注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

・ ライトは正逆転切り替えレバーが正転、または逆転の状態でスイッチレバーを引くと点灯し、放すと約 10 秒で消灯します。
・ 消灯設定時はスイッチレバーを引いても点灯しません。
※ライトモードへの切り替えはできます。
・ スイッチレバーを放してから約 10 秒以内にスイッチパネルのライトボタンを押すと、照度が消灯を含めた 4 段階で切り替わります。



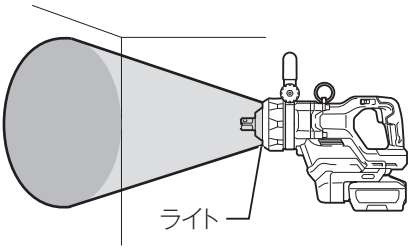


注

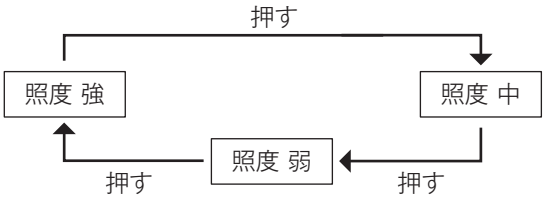
・ スイッチレバーを引き、ライトが点灯しなければ消灯状態であることを確認できます。
・ スイッチレバーを引いている間は、照度の切り替えができません。
・ スイッチレバーを放してから 10 秒間切り替え可能です。
・ スイッチレバーを放してから約 1 分後にスイッチパネル内のすべてのランプが消えます。
・ 本製品が高温になった場合にライトが点滅します。本製品を冷ましてください。

ライトモード

・ 本製品はライトモードを備えています。長い残照時間で周りを照らし、暗い場所で簡易的な照明として使用できます。

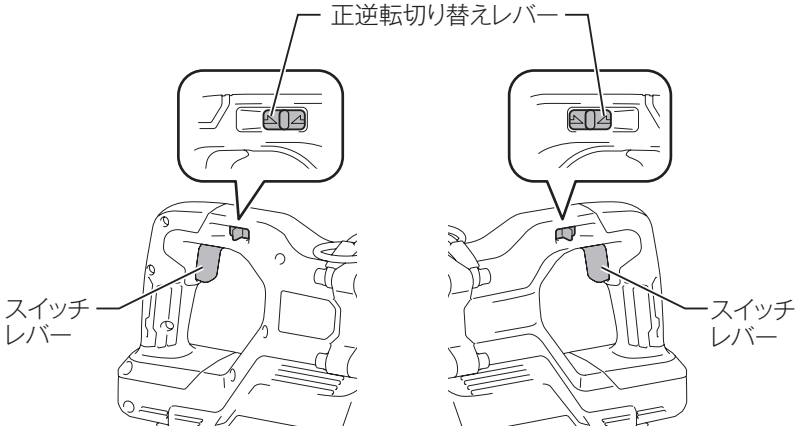


・ ライトモード中にライトボタンを押すと、照度が 3 段階で切り替わります。



■ 操作方法

・ 正逆転切り替えレバーを中間の位置にしてスイッチレバーを引くとライトモードとなり、約 1 時間点灯します。
もう一度引くと消灯します。
※正逆転切り替えレバーの操作については 27 ページ参照
・ ライトモードの状態で点灯中に正逆転切り替えレバーを中間の位置から変更すると、ライトモードは解除されます。
・ 何も操作しない場合、自動的に約 1 時間後に消灯します。



注

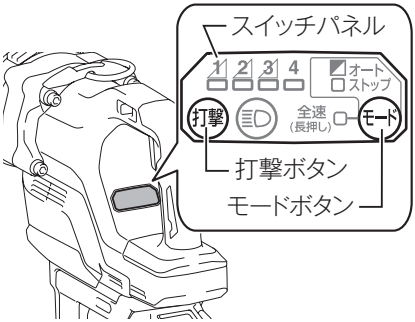
・ 通常時の照度とライトモードの照度はそれぞれ個別に設定でき、記憶されます。また、ライトモードでは消灯設定ができません。
・ ライトモード中は、スイッチパネルのモードの表示は消灯します。
・ バッテリの容量が少ない場合、またはバッテリの保護機能が働いている場合は､ライトモードは作動しません。本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。

モードの切り替え

本製品は、打撃モードを 4 段階、正逆転オートストップを 3 段階、さらに、全速モードを備えています。作業シーンに最適なモードを選んでください。

打撃モード⇒4(最速)、3(強)、2(中)、1(弱)
正逆転オートストップ⇒1段、2段、3段

・ モードの切り替えには、スイッチパネルの 打撃 ボタン、 モード ボタンを押して行います。



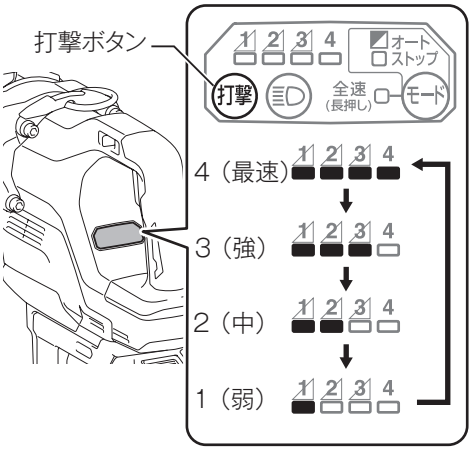
注

・ スイッチレバーを引き、スイッチパネル上のいずれかのランプが点灯している状態にします。
・ モードおよび設定の切り替えの操作は、スイッチレバーを放してから約 1 分間可能です。ただし、 打撃 ボタンもしくは モード ボタンのいずれかを押すと、切り替え可能時間が約 1 分延長されます。

■ 打撃モードの切り替え

打撃モードを 4（最速）、3（強）、2（中）、1（弱）の 4 段階に切り替えることができます。作業に応じた締め付け力に調整してください。

・ 打撃ボタンを押すごとに、打撃モードが、4（最速）、3（強）、2（中）、1（弱）の順に切り替わります。



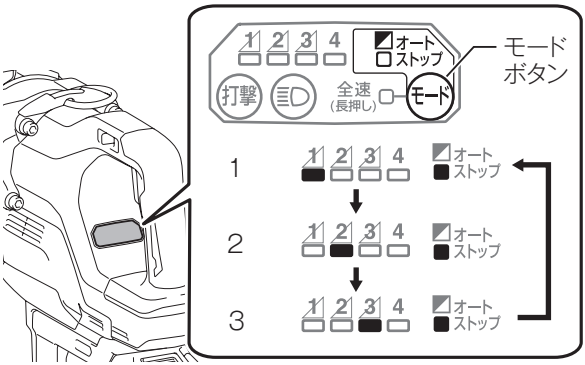
・ 各モードの詳細は、以下の表をご覧ください。

打撃モード（■ ＝点灯）	最大打撃数	用途	適応ボルト（目安）	
			普通ボルト	高力ボルト
4（最速）	1,750 min^{-1}（回 / 分）	パワーやスピードを優先したい作業。	M45	M33
3（強）	1,500 min^{-1}（回 / 分）	最速モードほどの打撃力を必要としない一般作業。	M39	M30
2（中）	1,300 min^{-1}（回 / 分）	パワーを抑える必要がある作業。	M33	M24
1（弱）	1,200 min^{-1}（回 / 分）	締め付け時に微調整が必要な作業。	M27	M20

■ 正逆転オートストップモードへの切り替え

3 段階の正逆転オートストップに切り替えることができます。
用途に合わせて、あらかじめ設定された時間・回転速度に自動で停止・変速され、作業を行いやすくします。

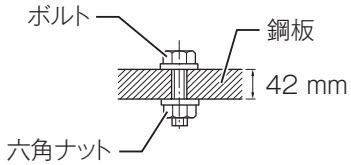
- スイッチパネルのモードボタンを短押しすると、正逆転オートストップモードへ切り替わります。
- モードボタンを短押しするごとに、正逆転オートストップモードの設定時間が、1、2、3 の順に切り替わります。
- 正逆転オートストップモードをキャンセルするには、打撃ボタンを押します。直前に使用した打撃モード設定のまま通常モードに戻ります。



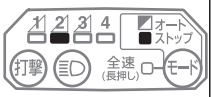
注

- スイッチレバーを引き、スイッチパネル上のいずれかのランプが点灯している状態にします。
- モードおよび設定の切り替えの操作は、スイッチレバーを放してから約 1 分間可能です。ただし、打撃ボタンもしくはモードボタンのいずれかを押すと、切り替え可能時間が約 1 分延長されます。

・ 各モードの詳細は、以下の表をご覧ください。
・ 用途は目安の作業であり、作業条件によって内容が変わる可能性があります。
・ 各モードの締め付けトルクは、下図のような作業条件での参考値になります。ボルトの材質・サイズ・鋼板や締め付ける場所の材質によって、締め付けトルクが変わる可能性があります。



・ 試し締め／ゆるめを行い、適切な作業内容となるか確認の上、ご使用ください。
・ 正逆転オートストップモードの自動制御機能は、スイッチレバーをいっぱいまで引いたときにのみ機能します。

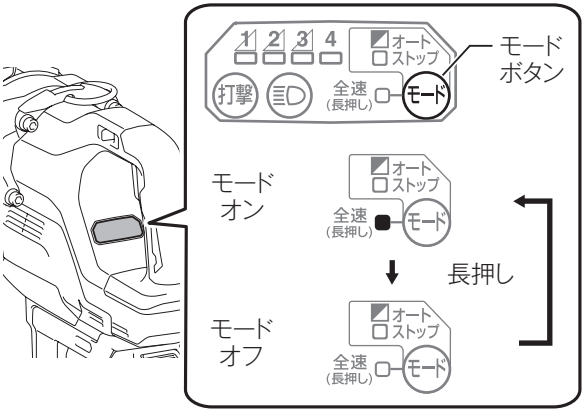
正逆転オートストップ（■ ＝点灯）	正転時	逆転時※	正転時			逆転時
	モード内容		用途	適用ボルト（目安）	締め付けトルク	用途
1	打撃開始後すぐに停止	打撃終了後すぐに停止	トラックのタイヤの仮締め付けなど	M20 ～ M24	約 300 ～ 450 Nm	ボルトやナットをゆるめる際に脱落を防ぎたい場合など
2 	打撃開始後約 0.5 秒で停止	打撃終了後約 0.2 秒で停止	建設機械、重機のメンテナンス時、大型鉄骨材の仮締め付けなど	M24 ～ M30	約 700 ～ 1,000 Nm	
3	打撃開始後約 1 秒で停止	打撃終了後約 230 min^{-1}（回 / 分）で回転 ※停止はしません	プラントの設備メンテナンス時の仮締め付けなど	M33	約 1,800 ～ 2,000 Nm	

※：各モードにおける回転数および打撃数は打撃モード 4（最速）と同じになります。

■ 全速モードへの切り替え

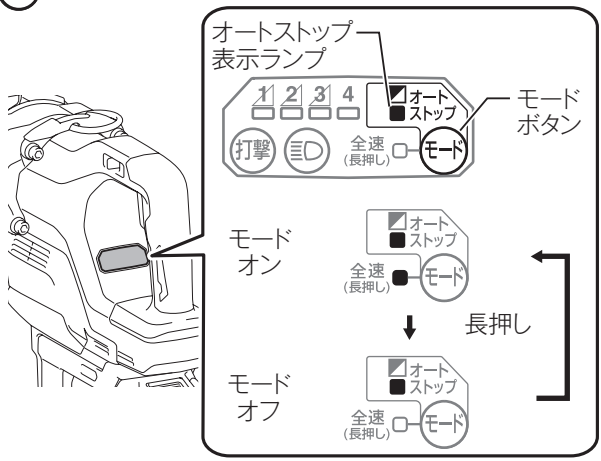
モードを全速モードに切り替えることができます。
スイッチレバーを少し引いただけで、設定した打撃モードの最大回転数に到達できます。

・ スイッチパネルのモードボタンを長押しして、全速モードのランプが点灯したら設定完了です。
・ 全速モードを解除するには、もう一度モードボタンを長押しして、全速モードのランプが消灯したら解除完了です。



注

・ 正逆転オートストップモード時においても全速モードへ切り替えることができます。正逆転オートストップモードの表示ランプが点灯しているときに、モードボタンを長押ししてください。全速モードを解除するには、もう一度モードボタンを長押ししてください。



ボルトの締め付け

⚠ 警告

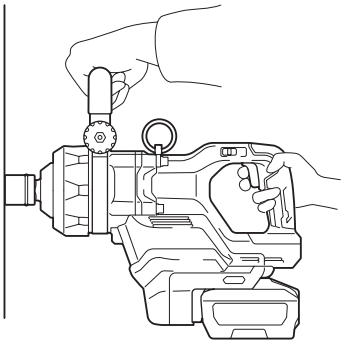
本製品をしっかり保持し、ソケットをボルトまたはナットに挿し込んで締め付けてください。

・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

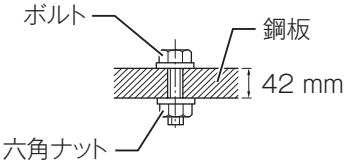
本製品を連続して作業する場合は、ハンマケースとアンビル部に触れないでください。

・ 熱くなっているためやけどの恐れがあります。

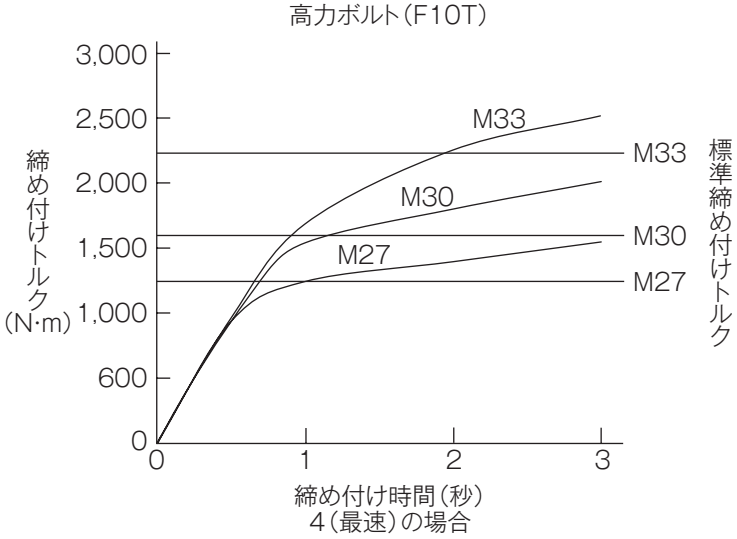
1. 本製品をしっかりと保持し、ソケットをボルトまたはナットに挿し込みます。
2. スイッチレバーを引き、適切な締め付け時間で固定します。



・ ボルトの適正締め付けトルクは、ボルトの材質・サイズ・締め付ける場所の材質などによって異なります。
・ ボルトの締め付けトルクと締め付け時間の関係は図のようになっています。これらを参考にして適切な締め付け時間を選んでください。



<TW009G/TW010G>



※スイッチレバーを最大に引き込むまでの時間を含んだ値です。
ボルトは下記を使用しています。
高力ボルト：強度区分 F10T

強度区分の説明

F10T
↓
ボルトの引張強さ 1,000 N/mm^2（102 kgf/mm^2）

注

- **本製品を押さえつけたり無理な力をかけたりせず、ボルトまたはナットに対して本製品をまっすぐ持ってください。**

- M20 以下のボルトの場合、スイッチレバーの引き加減を調整して締め付けてください。事前に締め付け時間と締め付け力を確認してください。
- ボルトを過大な締め付けトルクで締めますと、ボルトが伸びたり、折損したりすることがあります。また、ソケットなど工具類の寿命も短くなります。必ず実作業の前に試しに何本か締め付けて適当な締め付け時間を把握してください。特に M18 以下のボルトの場合はご注意ください。
- ボルトは下記の要因により締め付けトルクが変わってきますので、締め付けたボルトが適正締め付けトルクになっているか、トルクレンチなどで必ず確認してください。

1. 電圧
- バッテリが完全放電状態に近くなると電圧が降下し、締め付けトルクは低下します。

2. ソケット
- ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないと、締め付けトルクは低下します。
- 六角面および角ドライブ部の摩耗しているソケットを使用すると締め付けトルクは低下します。

3. ボルト
- 径の異なるボルトでは、トルク係数（ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示）、等級が同じでも締め付けトルクは異なります。
- 同じ径のボルトでもトルク係数、等級、長さによって締め付けトルクは変化します。

4. 別販売品の使用
- エクステンションバーを使用すると、締め付けトルクは若干減少しますので締め付け時間を長くしてください。

5. その他
- 締め付け場所により締め付けトルクは変動します。
- 本製品の持ち方により締め付けトルクは変動します。
- スイッチレバーを引き込みきらない状態で使用しますと、締め付けトルクは低下します。

保守／点検

⚠ 警告

保守、点検の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

保守

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- 水洗いは絶対にしないでください。
  ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 19 ページ参照。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

メモ

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881K40A1
IWT